２．計画の概要

（１）計画の対象区域

本計画の対象区域は、大野市全域とします。

■大野盆地

（２）計画の期間

本計画の計画期間は、概ね 10 年とし、市民意向や社会経済情勢の変化などに柔軟に対応するため、定期的に見直しを行い、計画を変更するものとします。

（３）計画の位置づけ

本計画は、大野市における自転車の利用促進を目指して、第五次大野市総合計画を上位計画とするとともに、本計画に関連する計画との整合を図り、安全で快適な自転車利用環境づくりの基本目標、基本方針を設定します。

上位計画

第五次大野市総合計画

〔平成 23 年 2 月〕

●自転車走行空間の整備（人にやさしい道路環境の創出）

●低炭素社会づくりの推進（次世代につなぐ持続可能な社会の形成）

関連計画

大野市都市マスタープラン

〔平成 23 年 7 月〕

●歩行者空間と自転車空間の充実

（交通ネットワークづくりの方針）

越前おおの環境基本計画

〔平成 22 年 3 月〕

●地球温暖化の防止（地球環境の保全）

・公共交通機関や自転車の利用促進

越前おおのまるごと道の駅ビジョン

〔平成 24 年 2 月〕

●中部縦貫自動車道利用者を市内に引き込むための情報の提供と回遊性の向上

越前おおの地域公共交通総合連携計画

〔平成 21 年 3 月〕

●市民の豊かな暮らしを支える公共交通の実現

（基本方針）

越前おおの観光戦略プラン

〔平成 24 年 3 月〕

●心地よくお迎えするための環境づくり

（「もてなしの心」の醸成）

・自転車による散策路の整備

越前おおのブランド戦略

〔平成 25 年 2 月〕

●自転車の利用などによる環境保全型の体験を提供する

（自然環境のブランド化戦略）

本計画

自転車を活用したまちづくり計画

第五次大野市総合計画（平成 23 年 2 月）ー抜粋ー

●自転車走行空間の整備（人にやさしい道路環境の創出）

自転車利用者の安全確保はもとより歩行者の安全確保を図るために、歩行者と自転車の利用空間の区別を図るとともに、自転車交通ネットワークの整備を推進します。

併せて、利用者が多い場所では駐輪場を整備し、市民の自転車利用を推進します。

●低炭素社会づくりの推進（次世代につなぐ持続可能な社会の形成）

市民一人一人が取り組む身近な地球温暖化対策を促進するために、公共交通機関や自転車の利用促進、エコライフやエコオフィス、エコドライブの普及啓発などに努めます。

特に、自転車と電気自動車の利用の促進、自転車事故の軽減、自転車走行空間の整備、駐輪場の整備などを盛り込んだ具体的な自転車を活用したまちづくり計画を策定し、市民、事業者、行政が協働して自転車利用を推進します。

大野市都市マスタープラン（平成 23 年 7 月）ー抜粋ー

●歩行者空間と自転車空間の充実（交通ネットワークづくりの方針）

自転車利用者と歩行者の双方に対して、安全性の確保と快適性の向上を図るため、自転車と歩行者の通行空間を区分するなど、自転車交通ネットワークの形成を進めます。特に、中心市街地エリア内では、ゆっくり歩いたり、自転車で移動してもらうため、回遊ルートを明確にし、歩行者や自転車が利用しやすい道路整備を行います。

真名川沿いなど大野市の豊かな自然を感じ、市域の散策を楽しんでもらうため、サイクリングロード整備などによる自転車走行空間の充実を進めます。

越前おおの地域公共交通総合連携計画（平成 21 年 3 月）ー抜粋ー

●市民の豊かな暮らしを支える公共交通の実現（基本方針）

公共交通相互、自転車やマイカーと公共交通など、誰もが複数の交通機関を円滑に乗り継ぎ、市内をスムーズに移動できるように、社会実験などによる検証を行うことにより、時代の変化にも柔軟に対応した計画的かつ段階的な施策を推進します。

越前おおの環境基本計画（平成 22 年 3 月）ー抜粋ー

●地球温暖化の防止（地球環境の保全）

生活様式や事業活動を見直し、二酸化炭素等の排出量を削減します。

公共交通機関や自転車の利用を促進し、自動車からの二酸化炭素の排出を抑制します。

越前おおの観光戦略プラン（平成 24 年 3 月）ー抜粋ー

●心地よくお迎えするための環境づくり（「もてなしの心」の醸成）

「越前おおの」は、豊かな自然や田園風景、戦国の世から代々継承されてきた古い町並みなど、美しく魅力ある景観を数多く有しています。

「越前おおの」を訪れる観光客の利便性の向上を図るため、中部縦貫自動車道の全線開通を見据えた誘導サインの整備や観光案内の多言語表記、自転車を活用した周遊性の向上、バリアフリーやユニバーサルデザイン対応などを進め、多様な人々が「越前おおの」での観光を楽しめる環境づくりを進めます。

・具体的施策：自転車による散策路の整備

越前おおのまるごと道の駅ビジョン（平成 24 年 2 月）ー抜粋ー

●中部縦貫自動車道利用者を市内へ引き込むための情報の提供と回遊性の向上

観光客を地域資源へ誘導する方法としては、例えば、中部縦貫自動車道にある「まるごと道の駅」の核となる施設（道の駅）を基点に環境に配慮したシャトルバス（(仮称）ミニはとバスなど）の運行やレンタル電気自動車・電動アシスト自転車の活用など、市内を回遊できるような仕組みも考えられます。

越前おおのブランド戦略（平成 25 年 2 月）ー抜粋ー

●自転車の利用などによる環境保全型の体験を提供する（自然環境のブランド化戦略）

地域の「結」により守り続けてきた里地里山、里川の自然環境を今後も継続して保全し活用する。